

酪農経営生産性強化支援事業実施要領

新潟県農林水産部畜産課

第1 趣旨

酪農経営生産性強化支援事業は、生産性等の向上による生乳生産量の拡大を図ることを目的とし、事業の実施については、新潟県補助金等交付規則及び新潟県畜産関係補助金交付要綱（以下、「補助金交付要綱」という。）に定めるもののほか、この要領の定めるところによる。

第2 実施基準

- 1 事業の実施基準は、別表1のとおりとする。
- 2 事業主体及び事業対象者は、「新潟県が行う事務及び事業からの暴力団排除に関する要綱」（平成23年8月1日制定）に定める排除対象者に該当しないものとし、採択後に排除対象者と判明した場合は、その時点で採択を取り消すこととする。

第3 事業実施計画の作成等

- 1 事業実施計画の策定
事業主体の長は、事業実施計画書（別記様式）を作成するものとする。
- 2 事業実施計画の申請
事業主体の長は、実施しようとする事業について事業実施計画認定申請書（様式1号）を知事に提出し、事業認定を受けるものとする。
- 3 事業実施計画の認定
知事は、2の申請内容を審査し、適当と認められる事業について認定を行うものとする。

第4 事業の実施

1 事業実施計画に基づく実施事業は、第3の3の規定により認定された事業実施計画に基づき実施するものとする。

2 事業実施計画の変更

事業主体の長は、補助金交付要綱第6で規定する軽微な変更以外の変更をするときは、変更内容を記した事業実施計画書（別記様式）を作成し、補助金交付要綱第5の事業計画変更承認申請書と併せて知事に提出するものとする。

3 事業認定前着手

事業の着手は、原則として当該事業実施計画の認定後とする。ただし、やむを得ず早期着手を必要とする場合は、認定前着手届（様式2号）に事業実施計画書を添えて畜産課長に提出した上で着手するものとする。

この場合において対象事業として認定されないときは、自力事業とする。なお、重要な変更についても、同様の取り扱いとする。

4 事業実施実績報告

事業主体の長は、事業が完了したときは事業実施実績書（別記様式）を作成し、補助事業の実績報告と併せて知事に提出するものとする。

5 関係書類の整備

事業主体の長は、事業箇所ごとに関係書類及び簿冊を整え、処理の経過を明らかにしておくものとする。

第5 指導推進体制

県は、事業実施計画の樹立、事業の実施並びに事業実施後の効果発現について指導助言に当たるものとする。

第 6 事務取扱等

事業実施に当たり、事業主体が提出する書類の種類等は、別表 2 によるものとする。

第 7 助成

県は毎年度予算の範囲内において事業の実施に要する経費に対して助成を行うものとし、補助率等は、補助金交付要綱によるものとする。

第 8 報告

事業主体の長は、事業実施計画に基づく事業が完了した年度から目標年度までの毎年度、当該事業計画の達成状況（又は実績）を調査し、様式 3 号により、その結果を調査年度の翌年度の 5 月末日までに畜産課長に報告するものとする。

第 9 その他

この要領に定めるもののほか、事業実施に関し必要な事項は、別に定める。

附則

この要領は、平成 31 年 4 月 23 日から施行し、平成 31 年 4 月 1 日から適用する。

附則

改正後の要領は、令和 2 年 4 月 1 日から施行し、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

附則

改正後の要領は、令和 3 年 6 月 11 日から施行し、令和 3 年 4 月 1 日から適用する。

附則

改正後の要領は、令和4年4月1日から施行し、令和4年4月1日から適用する。

附則

改正後の要領は、令和7年3月31日から施行し、令和7年4月1日から適用する。

附則

改正後の要領は、令和8年4月14日から施行し、令和8年4月1日から適用する。

別表 1

酪農経営生産性強化支援事業（事業実施基準）

事業名	目的	内 容	事業主体
酪農経営生産性強化支援事業	乳用牛の生産性向上を図るため、牛群検定による乳用牛の能力把握と改良増殖に取り組む酪農家の育成を図る。	<p>乳用牛の生産性向上に向けた以下の取組に要する経費を補助</p> <p>ア 牛群検定及び後代検定の推進 牛群検定及び後代検定の運営・実施、検定情報の分析・指導、交配技術料の補助に要する経費</p> <p>イ 牛群検定新規加入の推進 (ア) 牛群検定への新規加入の推進に必要な経費 (イ) 牛群検定への新規加入に必要な乳量計購入費、血統登録料等の補助に要する経費</p>	新潟県酪農業協同組合連合会

事業期間	採択基準 (実施基準)
1年	<p>1 事業主体は、次に掲げる要件のすべてを満たす酪農家を検定農家として選定するとともに、選定された検定経営をもって構成する乳用牛群検定組合を組織化し、ア及びイの事業を実施するものとする。</p> <p>(1) 原則として、飼養する全乳用牛を対象として牛群検定を実施すること。</p> <p>(2) 後代検定事業の実施に必要な候補種雄牛の娘牛の生産、育成、能力検定等の実施が確実であること。</p> <p>2 イ（イ）の事業対象者は、事業実施年度内に牛群検定組合への加入及び牛群検定の継続実施が確実と見込まれる者とする。</p>

別表 2

書類の提出先・提出部数及び事務処理系統

提出する書類	提出部数	事務処理系統 (必要部数)
事業計画認定申請書 (様式 1 号) 事業実施計画書 (別記様式) 及び添付資料	1	→畜産課 (1)
認定前着手届 (様式 2 号)	1	→畜産課 (1)
事業実施実績書 (別記様式) 交付要綱に基づく実績報告時に添付	1	→畜産課 (1)
達成状況報告 (様式 3 号)	1	→畜産課 (1)

様式 1 号（事業実施計画認定申請書）

番
令和 年 月 日
号

新潟県知事 ○○○○ 様

事業主体名
代表者職氏名

年度 酪農経営生産性強化支援事業実施計画認定申請書

酪農経営生産性強化支援事業実施要領（令和 年 月 日付け畜第 号）第 3 に基づき、関係書類を添えて申請します。

【誓約書】

私は暴力団又は暴力団員ではありません。
また、これらの者と社会的に非難されるような関係はありません。

※ にレ点チェックをして誓約すること。

※ 添付書類：事業実施計画書（別記様式）
その他添付資料

様式 2 号（認定前着手届）

番 号
令和 年 月 日

畜 産 課 長 様

事業主体名
代表者氏名

酪農経営生産性強化支援事業認定前着手届

年度酪農経営生産性強化支援事業として、下記事業を認定前に着手したいので、対象事業として認定されない場合は自力事業とすることを了承の上、届出します。

記

1 認定前着手をしようとする事業

種 目	
細 目（目的）	
内 容	
施 行 箇 所	
着 手 年 月 日	
完 了 年 月 日	
施 行 方 法	
事 業 量	
事 業 費	

2 認定前着手の理由

3 添付書類：事業実施計画書（別記様式）

様式 3 号 (達成状況報告書)

年度酪農経営生産性強化支援事業達成状況報告書

事業実施	年度	報告年度	年度	目標年度	年度	市町村名	
事業実施 主体名							
地区の 概要	畜産農家数 (戸数)	頭羽数		受益 範囲	畜種	戸数	面積・処理量 又は頭羽数
事業の 概要	事業内容	数量	事業費	補助率	県費	団体費	その他
施行箇所		計	円	/	円	円	円
事業 計画 の 実績	目標項目 (単位) (目標値)	事業計画時 (年)	1 年 目 (年) (達成率)	2 年 目 (年) (達成率)	3 年 目 (年) (達成率)	/	
	()		%	%	%		
	()		%	%	%		
	()		%	%	%		

成 果 ・ 課 題 ・ 改 善 策	成 果	
	課 題	
	改善策	

別記様式 1

年度酪農経営生産性強化支援事業

実施計画(実績)書

1 事業主体の名称及び所在地

事業主体	
所在地	

2 事業内容

ア 牛群検定及び後代検定の推進

事業費	対象事業費 円 (うち消費税額 円)	
事業内容	目標	
	今年度 (計画・実績)	目標 (令和9年度末)
○牛群検定及び後代検定の推進		

イ 牛群検定新規加入の推進

事業費	対象事業費 円 (うち消費税額 円)	
事業内容	今年度	目標
	今年度新規加入 農家数 (計画・実績)	新規加入農家数 R7~9 合計
○新規加入の推進		
○新規加入の初度的経費の支援		

3 添付資料

【計画時】

- 別記様式 2
- 牛群検定組合別農家名簿 (事業実施年度の期首時点)

【実績時】

- 牛群検定組合別農家名簿 (事業実施年度の期末時点)
- 別記様式 2
- 別記様式 3
- ア 牛群検定及び後代検定の推進に係る経費明細 (様式任意)

別記様式 2

年度酪農経営生産性強化支援事業
事業計画（実績）書

年 月 日

新潟県酪農業協同組合連合会長 様

住 所 _____

氏 名 _____
(または法人名・代表者職・氏名)

事業参加に際しては、牛群検定情報の提供に同意します。
また、実績確認及び導入効果確認に必要な関係書類を適正に保存し確認作業に協力するとともに、注意事項に留意します。

記

1 酪農経営概況(年 月 日時点)

飼養頭数(頭)	頭 (うち検定牛頭数 頭)		
出荷乳量	t /年	経産牛1頭当たり乳量	kg/頭
牛群検定組合への加入(予定) 年月日	令和	年 月 日	

2 事業の内容

	機器等	数量	単価	対象事業費	うち消費税額
牛群検定新規 加入に要する 機器の整備等	・乳量計	台	円	円	円
	・血統登録料	頭	円	円	円
	・その他		円	円	円

3 添付資料

(計画時)

整備予定の機器の見積書

(実績時)

- ① 導入した機器の見積書およびカタログ
- ② 支払関係書類(納品書、請求書、領収書等)
- ③ 別紙様式3「酪農経営生産性強化支援事業 機器整備確認書」

【誓約書】(□にレ点チェックをして誓約すること。)

- 私は暴力団又は暴力団員ではありません。
また、これらの者と社会的に非難されるような関係はありません。

注意事項

以下の場合には、補助金の返納が必要になる場合があります。

- ア 耐用年数以内に、酪農経営をやめた場合
- イ 耐用年数以内に、補助を受けた機器等を売却もしくは譲渡した場合

別記様式 3

酪農経営生産性強化支援事業 機器整備確認書

機械名(仕様・台数等)	
メーカー名	
販売業者名 (住所・連絡先)	
納入年月日	
取得価格	円(うち消費税 円)
設置場所	
<p>※ 以下の項目を確認してチェック</p> <p><input type="checkbox"/> 申込時内容と相違ないか</p> <p><input type="checkbox"/> カタログどおりの機器か</p> <p><input type="checkbox"/> 新品であるか</p> <p><input type="checkbox"/> 正常に作動しているか</p> <p><input type="checkbox"/> 酪農家は業者から取扱説明を受けたか</p>	
備考	

以上のとおり、導入されたことを確認しました。

年 月 日

農協名 _____

確認担当者名 _____